



内閣府

平成 2 5 年 5 月 2 8 日
国際平和協力本部事務局

「ゴラン高原国際平和協力業務の実施の結果」及び「ハイチ国際平和協力業務の実施の結果」について

標記については、5月28日（火）の閣議において決定されたところ、概要は別紙のとおり。

ゴラン高原国際平和協力業務及びハイチ国際平和協力業務の実施の結果について

平成 25 年 5 月
内 閣 府
外 務 省
防 衛 省

1. ゴラン高原国際平和協力業務の実施の結果

- (1) 我が国は、平成 8 年 2 月以降、国連兵力引き離し監視隊(UND OF)に自衛隊輸送部隊及び司令部要員を派遣し、日常生活物資の輸送等の後方支援業務及び広報、輸送に関する企画調整等の業務を行ってきた。
- (2) 昨年 12 月、我が国は、シリア情勢の悪化等により、要員の安全を確保しつつ、意義のある活動を行うことが困難となったことから、UND OF から要員を撤収させることとした。連絡調整要員を含む我が国の要員は、本年 2 月までに帰国を完了した。

2. ハイチ国際平和協力業務の実施の結果

- (1) 我が国は、平成 22 年 1 月に発生したハイチ地震を受け、同年 2 月以降、国連ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)に自衛隊施設部隊及び司令部要員を派遣し、がれきの除去等の施設業務及びMINUSTAH が実施する復旧活動等に関する企画及び調整の業務を行ってきた。
- (2) 昨年 7 月、我が国は、ハイチの復旧状況等を踏まえ、ハイチ国際平和協力業務の終了に向けた準備に着手することとし、同年 10 月の防衛大臣の業務終結命令を受け、連絡調整要員を含む我が国の要員は本年 2 月までに帰国を完了した。

国際連合兵力引き離し監視隊 (UNDOF)の概要

(United Nations Disengagement Observer Force)

1 紛争の概要

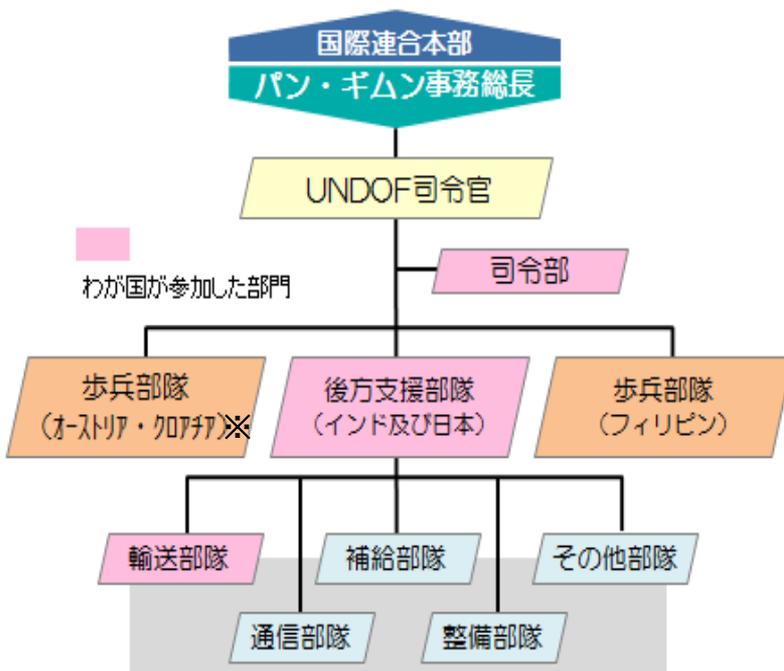
ゴラン高原は、昭和42(1967)年の第三次中東戦争をきっかけにイスラエルが占領し、昭和48(1973)年の第四次中東戦争でシリアが一時的に奪還したが、その後すぐにイスラエルが再占領した。

2 設立の経緯及び任務

- (1) 設立：昭和49(1974)年5月31日(安保理決議第350号)
- (2) 任務：
 - ・ゴラン高原地域におけるイスラエル、シリア両国間の停戦監視
 - ・両軍の兵力引き離しに関する合意の履行状況の監視

3 UNDOFの規模

- (1) 規模：917名 (H25(2013).3.31現在)
- (2) 他の派遣国：オーストリア、インド、フィリピン等5か国

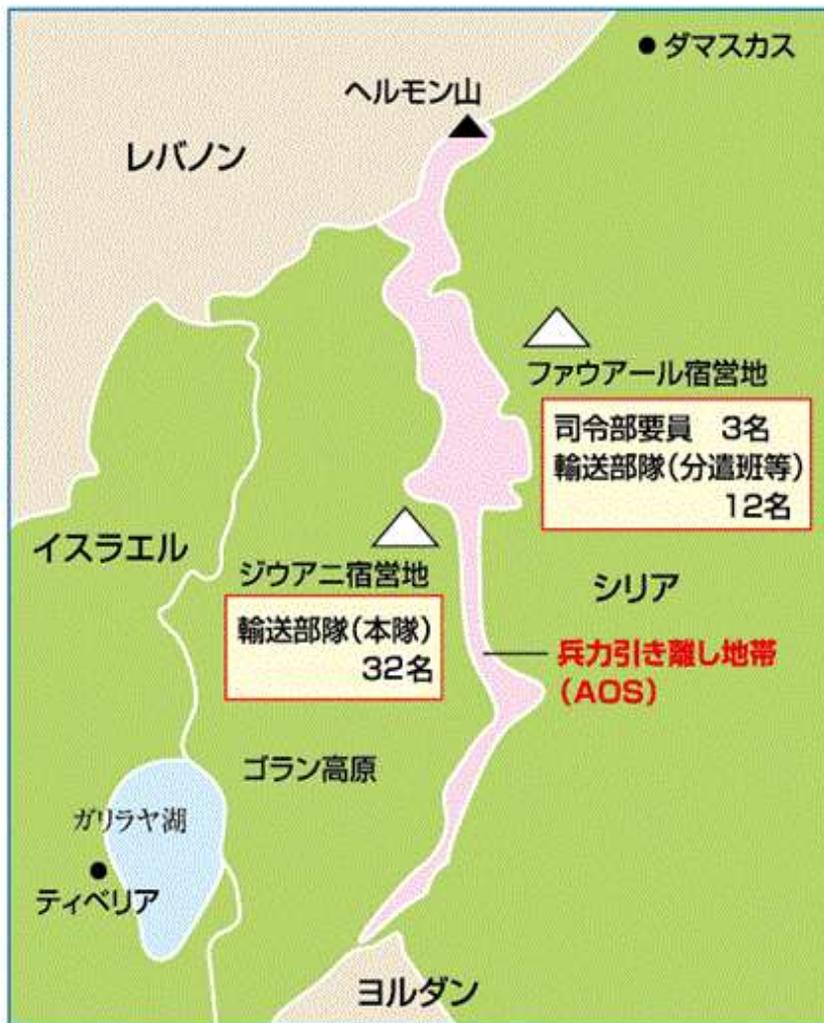


※ クロアチアは平成25(2013)年3月に撤収。

4 我が国要員の派遣の概要

＜派遣期間＞平成8(1996)年2月～平成25(2013)年2月

※連絡調整要員は、平成25(2013)年2月に帰国。



○ 司令部要員

3名(第13次要員までは2名)の司令部要員は、シリア側のファウアール宿営地に位置するUNDOFの司令部において、UNDOFの活動に関する広報並びに輸送等に関する企画及び調整などの業務を実施。これまでに17次にわたり総計38名を派遣。平成25(2013)年1月17日に第17次要員が帰国。

○ 輸送部隊

44名(第33次要員までは43名)からなる自衛隊の輸送部隊は、イスラエル側のシウアニ宿営地に本部を置き、UNDOFの活動に必要な食料品などの物資の輸送や保管、道路などの補修といった後方支援業務を実施。これまでに34次にわたり総計1,463名を派遣。平成25(2013)年1月19日までに第34次要員が帰国。

国際連合ハイチ安定化ミッション (MINUSTAH)の概要

(Mission des Nations unies pour la stabilisation en Haiti / United Nations Stabilization Mission in Haiti)

1 概要

ハイチでは、平成16(2004)年に入ってから政治情勢の不安定化及び治安情勢の急速な悪化により、同年2月29日、大統領が国外へ逃亡。同年、国連ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)が設立。

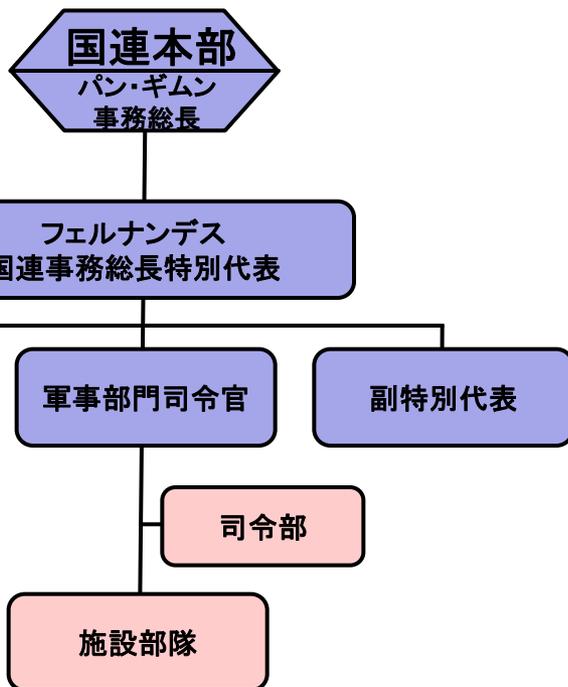
平成22(2010)年1月12日に、首都ポルトープランスを中心に大規模な地震が発生し、ハイチは甚大な被害を受けた。同月19日、国連安保理は、緊急の復旧、復興等及び安定化を支援するため、MINUSTAHの軍事要員を2,000名、警察要員を1,500名増員する内容の決議第1908号を全会一致で採択。その後安保理は、ハイチの復旧状況等に鑑み、最大で軍事要員8,940人、警察要員4,391人だった定員を、平成23(2011)年10月及び平成24(2012)年10月の決議により、地震を受けて増員した要員を順次削減。

2 設立の経緯及び任務

- (1) 設立：平成16(2004)年6月1日（安保理決議第1542号）
- (2) 任務：
 - ・安全かつ安定的な環境の確保
 - ・政治プロセス支援
 - ・行政機関・法の支配の強化
 - ・人権の擁護及び促進

3 MINUSTAHの規模

- (1) 規模：軍事要員 6,681人、警察要員 2,676人
(H25(2013).3.31現在)
- (2) 他の派遣国：ブラジル、ウルグアイ、スリランカ等48か国



(H25(2013)-1.31現在)

はこれまでに我が国要員が配置された部門

4 我が国要員の派遣の概要

＜派遣期間＞平成22(2010)年2月

～平成25(2013)年2月



○ 司令部要員

2名の司令部要員は、MINUSTAH司令部における施設業務等に関する企画及び調整の業務を実施。

これまでに6次にわたり総計12名を派遣。平成25(2013)年1月末をもって第6次要員が帰国。

○ 施設部隊

最大350名からなる自衛隊施設部隊は、地震の被害が最も大きかった首都ポルトープランスを中心に、がれきの除去、整地、道路補修、軽易な施設建設、耐震診断等の業務を実施。これまでに延べ2,184名を派遣。部隊は平成24(2012)年10月に施設活動を終了。平成25(2013)年2月末までに全ての要員が帰国。